



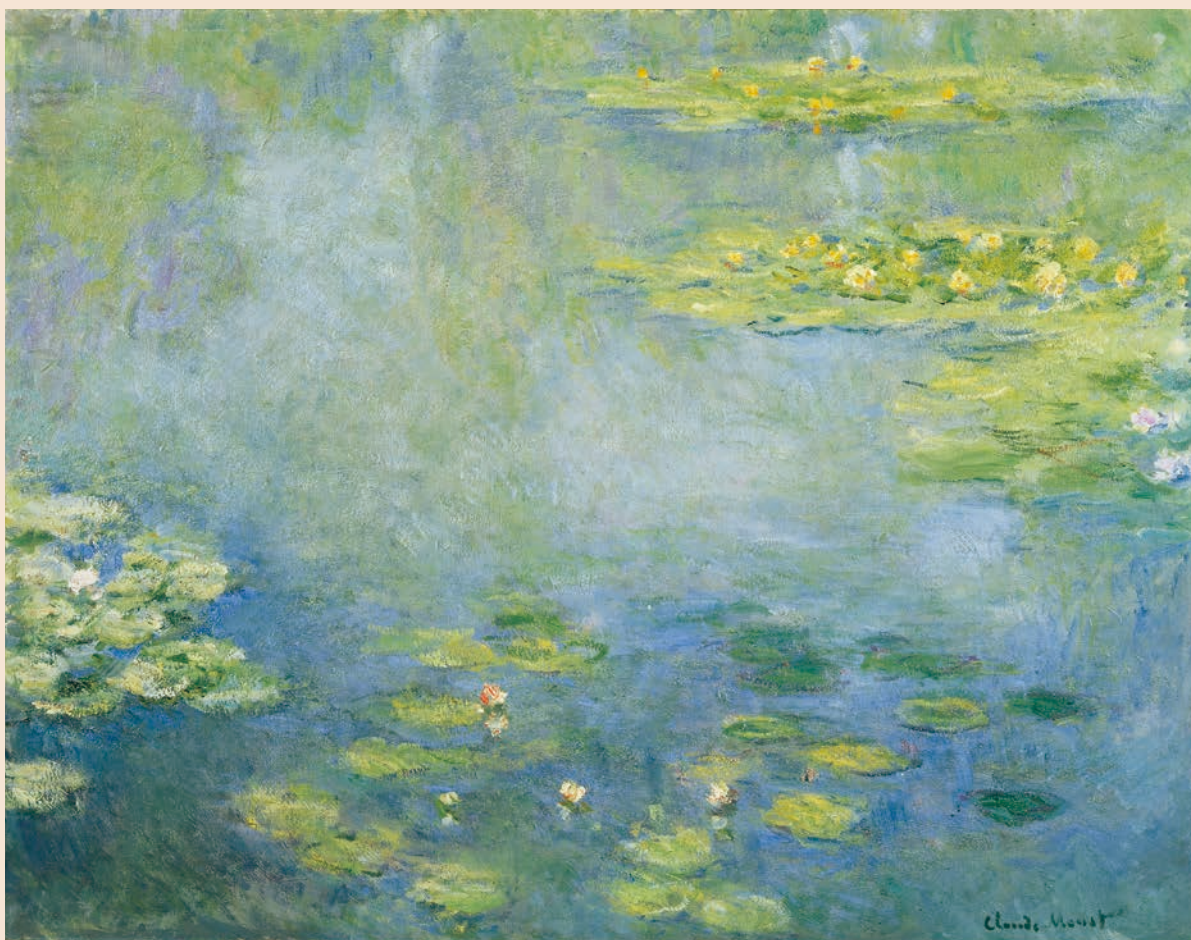
2012-2013 ガバナー月信

国際ロータリー第2690地区(鳥取・島根・岡山)

Governor's Monthly Letter

Vol. **12**

2013.6.1



「睡蓮」 クロード・モネ

(大原美術館所蔵)



Peace
Through Service

2012-2013年度

国際ロータリー会長 田中 作次

国際ロータリー第2690地区(鳥取・島根・岡山)

2012-2013年度ガバナー 森田 昭一郎

CONTENTS

- 2 ガバナーメッセージ
「四つのテスト」の真実
- 3 2013-2014 年度 国際ロータリー 青少年交換
派遣学生オリエンテーション開催
- 4 「2012-2013 年度インターアクト地区協議会」報告
- 5 米子中央ロータリークラブ創立20周年記念式典・祝賀会を終えて
- 6~9 新地区補助金活動報告
- 10 第36回ローターアクト地区大会について
- 11 第1・第2グループIM 報告
- 12 第6グループIM 報告
ロータリーカード推進について
- 13~14 2013学年度 米山記念奨学生オリエンテーション・歓迎会
第5回 諮問委員会 報告
- 15 地区だより (4月)
- 16 出席報告 (4月)

ガバナーメッセージ

「四つのテスト」の真実

国際ロータリー第2690地区ガバナー

森田 昭一郎



私達は例会の最初に四つのテストの唱和を行います。

- ①真実かどうか
- ②みんなに公平か
- ③好意と友情を深めるか
- ④みんなのためになるかどうか

このいわばロータリーの誓いの言葉を習慣的に会員すべてが口にします。私は時々新会員に、この言葉の意味を尋ねてみる事がありますが、彼等は曖昧な笑みを浮かべて明解な理由づけをする事はありません。又、ベテランの会員にもアセンブリーの時などに質問する事がありますが、これも同様に今さらという顔をして質問に答えてくれる事はありません。

実際に「四つのテスト」の解釈を紐解いてみると職業人としてのロータリアンの心構えを示しています。

1954年のRI会長ハーバート・テラーが経営者の意識すべき営業活動のモットーとして作ったこの一文は現在世界各国で広く活用されています。ビジネス規範として作られたものが、やがて汎用語として語られ始めたという経緯は実にロータリーそのものの実体を示しているような気がします。私達の属するロータリーという組織は創世期より他の奉仕団体とは別の倫理を持つ、いわば世界のビジネスネットワークを通じてのグローバルな奉仕団体だという事を認識しなければなりません。在籍年数の長い会員の方々は、ロータリーは親睦と奉仕を中心として活躍すべき団体としてとらえています。

もちろんそれは正しいスタンスだと思います。しかしクラブ創世の原点を考えるならば、親睦とはビジネスを通じてのより良い人間関係を作り上げる事、そしてサービスとはビジネスネットワークを通じて自分自身を含めてすべての生活人がよりよい環境に置く事が出来る、そういう世界の創造を自らの意志で自発的に考え行動パターンを組み立て、そして実践する、それがロータリー活動であると思っています。それが個であれ集団であれ。ともすれば現実の実体を把握する事なく理想論を語り、自己満足にしかすぎない奉仕に向かう、その事は真のロータリー精神とは遠く離れてしまうように思います。

私達は年間少なからぬ会費を納めています。その費用対効果を考えるならば、もっと効率の良い、「理」に流される事のない、無駄のない活動の在り方を探る必要があります。自らの為に資する、そして他者の益となる、時代のニーズを取り込み、刻々と変わっていく周辺環境に適応した「新ロータリー運動」を展開すべきと考えます。

2013-2014年度 国際ロータリー青少年交換派遣学生オリエンテーション開催

第2690地区青少年交換委員会 垣内敏彦

平成25年4月8日、第2690地区青少年交換委員会は2013-2014年度青少年交換派遣学生 (outbound 学生) の留学説明会を開催いたしました。会場となったホテル日航倉敷には、次年度の派遣学生4名、保護者の方々、また旅行代理店の方に加え、国際ロータリー第2690地区からは森田ガバナー、井上地区代表幹事、同委員会メンバー5名が参加いたしました。

まず最初に、森田ガバナーから国際ロータリーの青少年交換プログラムが世界で最大規模を誇る留学制度であること、同プログラムの目的や意義、また留学生に対して望むこと等について挨拶をいただきました。その後、渡航申請書類の書き方やビザ発行など海外渡航手続きに関して細かな注意事項がありました。

オリエンテーションに参加した学生や保護者の方たちは、これから始まる海外生活に夢を馳せるとともに、彼我の生活習慣・文化などの違い、また現在抱えている海外生活に対する不安等について、多くの質問がありました。



これまで新聞・雑誌、或いはテレビ等でしか窺い知ることができなかった海外生活が、このオリエンテーションを通じ、より身近なものとして感じることができるようになってきたと思います。

最後に、当委員会から outbound 学生に対し、

1. 安全に留意しながら、留学期間の1年間を有意義に過ごし、元気に帰国する。
2. 海外の文化・習慣にふれ多くの異文化を吸収するとともに、“小さな親善大使”として海外の人たちに日本のことを紹介する役割を果たす。
3. 海外の人たちとの交流を深めることにより、自らが将来も持ち続けられる“良い思い出”をつくれるようベストを尽くす。

ことをお願いし、閉会となりました。

青少年交換委員一同、outbound 学生の皆さんが、これから1年間の海外留学を通じ一段と逞しくなって帰国されんことを期待しております。

「2012-2013年度インターアクト地区協議会」報告

インターアクト地区委員長 藤南 一朗

RID2690地区2012-2013年度インターアクト地区協議会が平成25年4月27日（土）～28日（日）倉敷アイビースクエアにおいて、森本ガバナー・エレクトをはじめ、地区内の顧問教師33名、ロータリー会員28名の参加により開催されました。本会は次年度開催のインターアクト地区大会に向けての打ち合わせと、顧問教師とロータリー会員とが懇親を深めることを主たる目的として例年開催しているもので、一日目は本会議Ⅰと懇親会、二日目に分科会と本会議Ⅱを行いました。

まず、森本ガバナー・エレクトより「次年度はインターアクトクラブ、ロータリークラブともに各1クラブ以上増を目標に、新世代の育成活動に注力する」旨のご挨拶を頂戴し開会しました。その後、インターアクト地区大会の概要説明が行われ、懇親会へと進みました。懇親会では和気あいあいとした雰囲気のもと各テーブルを越え大いに盛り上がり交流が図られました。グループを越え、県を越えて各員が親密に交流できるのもインターアクトならではの大変有意義なものと感じます。

二日目、顧問教師とRC会員とに分かれた分科会ではお互いもう少し時間が欲しかった様子でした。続いて



本会議Ⅱでは各分科会報告を行い、川上昌俊次期インターアクト地区委員長の閉会挨拶で全日程を終えました。総じてその趣旨に副った大変良い会であったと思います。

最後に本会ホストで次年度インターアクト地区大会ホストクラブの岡本研作大会実行委員長をはじめ、水島工業高校の校長先生、顧問教師、倉敷RC関係者の皆様には大変お世話になりましたことに御礼申し上げ、ご報告とさせていただきます。



米子中央ロータリークラブ創立20周年記念式典・祝賀会を終えて

米子中央ロータリークラブ会長 吉田 登志子

RID 2690地区第2グループ米子中央ロータリークラブは、4月7日創立20周年記念式典を執り行いました。

米子中央ロータリークラブは、1994年4月27日米子東ロータリークラブをスポンサークラブとして創立されました。1993年6月1日にRI承認、1994年1月9日認証状伝達式を行い現在に至っております。

式典当日は、日本列島を春の嵐が吹き荒れ、強い風雨の中、台中東北ロータリークラブ、津山中央ロータリークラブ、高知中央ロータリークラブ、第2グループ各クラブ会長、幹事にご臨席を頂き、メンバー、同婦人約70名の参加で執り行いました。

式典では、16周年から20周年の間の物故者への黙とう、スポンサークラブへの感謝状の贈呈、クラブの活動、社会奉仕活動の様子、同好会の活動の様子等々を映像で流し現在のクラブの案内をいたしました。

続いて20周年記念事業が、岡本豊実行委員長より発表され、米子社会福祉協議会、大山・中海エコツーリズム協議会に目録を、エコツーリズム国際大会2013in鳥取実行委員会に協賛金を贈呈いたしました。又姉妹提携をしています、台中東北ロータリークラブと今年が提携期間終了の年に当たり継続の調印式も行い式典は滞りなく修了しました。

続いて祝賀会は来賓の津山中央ロータリークラブ、高知中央ロータリークラブの会長から祝辞を頂き、直前会長の魚谷会員の乾杯で始まりました。台中東北ロータリークラブのメンバーの中には日本語が堪能な方がおられるので話が弾み、大いに国際交流をすることが出来ました。

20周年をひとつの区切りとして成人した

米子中央ロータリークラブが、地域に必要とされるクラブとして成長し続ける事を誓いました。



記念事業の目録贈呈



台中東北ロータリークラブとの調印式



新世代に奉仕精神を涵養する海外ボランティア派遣型リーダー育成プロジェクト

岡山東ロータリークラブ

- 【実施場所】 岡山市内およびベトナム・ホーチミン市ならびに周辺地域
- 【実施日】 2012年8月1日～2012年12月6日
- 【協力団体】 Nurture the Dream および OKAVINA
- 【受益者】 岡山東 RC が選抜する岡山県内大学の学生6名および体験発表会聴衆（大学生）95名、岡山市内の報告書配布先大学
- 【支出内訳】 ボランティア募集 ポスター（100枚）・チラシ（1,000枚） 54,600円、ボランティア研修会場代 2,084円、ボランティア派遣旅費（航空運賃）6名分 398,655円、保険料金 30,000円
- 【実施内容】 ベトナム人留学生の協力を得て事前教育した次世代を担う岡山の若者6名をベトナムに派遣（10月19日～24日の6日間）し、ホーチミン市郊外の貧困層家庭の多いタンタック A 小学校で現地のボランティア団体とともに子供たちの支援活動（図書室整備活動、日本の絵本やおもちゃの寄贈、日本文化の紹介）をさせ、奉仕精神や広い視野を涵養させた。帰国後、11月8日に岡山プラザホテルにて派遣学生の報告会を行った。また、学生の各大学で報告の機会を持ってもらい報告会を実施した。活動内容を記載した報告書を作成し、学生の在籍する大学等へ配布した。

【活動模様】



派遣前研修会



支援物資の仕分けなど



日本文化の紹介



「祭りの復活！」をテーマとする伝統芸能イベントの開催と記念植樹

岡山北ロータリークラブ

- 【実施場所】 今村宮（岡山市北区今4-3-5）
- 【実施日】 2012年11月11日
- 【受益者】 岡山市 出石地区 今村地区 住民 約100名
- 【支出内訳】 記念植樹費用（苗木20本・土壌改良・運搬） 84,000円、記念植樹費用（標柱1本） 21,000円、チラシ作成費（500枚） 45,000円
- 【実施内容】 11月11日（日）午後1時から3時 今村宮に於いて市内広範囲に散っていた氏子が集結。岡山北 RC 会員とともにかつての祭りを再現する伝統芸能（備前岡山獅子舞太鼓唄保存会による獅子舞）を奉納し、記念植樹を行った。鎮守の森を見直し、復活させることで、温室効果ガスの削減と世代を超えた人と人とのつながりと地域のアイデンティティを確立することを目的として今回のプロジェクトを実施した。当初、樹木に名板を付ける予定だったが、ロータリーの広報として、より効果の高い標柱を同額予算で制作した。

【活動模様】



伝統芸能の奉納の様子



記念植樹



新地区補助金活動報告

【支出内訳】はすべて補助金からの支出分のみ記載しています

高校生260名と行う「太子ヶ丘の森」の整備と ロータリアンが行う校外講師授業

倉吉ロータリークラブ

【実施場所】 倉吉農業高等学校（倉吉市大谷166-1）敷地内

【実施日】 2012年9月1日～2012年11月30日

【受益者】 倉吉農業高等学校の生徒約260名および「太子ヶ丘の森」利用者

【支出内訳】 樹木プレート（杭タイプ）20基 100,002円

【実施内容】 ①倉吉農高環境科生徒対象に、プロジェクトおよび樹木について、2012年9月、会員が校外講師として学校にて授業実施。なお、会員による授業は引き続き1月以降も継続して行う予定である。②同年10月太子ヶ丘の森の樹木調査実施および樹木の手入れ。③同年11月樹木名板取り付け。名板（樹木プレート）の数は樹木の状態に応じて、申請時点から変更した。

【活動模様】



「太子ヶ丘の森」の整備と校外授業の様子

夏祭りイン胥部(あざえ)小学校

～ロータリアンと小学生と外国人とで作る出店料理の体験～

真庭ロータリークラブ

【実施場所】 真庭市立胥部小学校

【実施日】 2012年7月14日～2012年7月16日

【受益者】 岡山大学留学生7名、真庭市立胥部小学校児童33名、保護者50名、職員11名

【支出内訳】 留学生送迎交通費 69,000円、日本の祭り文化体験費用 流しそうめん道具 539円、わたがし機 10,500円、ヨーヨーすくい道具他 29,299円、利用券作成文具 2,130円

【実施内容】 5ヵ国（セルビア、韓国、アメリカ、ベトナム、ロシア）7人の岡山大学留学生を招いて、真庭市立胥部小学校の児童33名とPTA・職員；約50名の交流会を、2012年7月16日真庭市立胥部小学校で開催した。留学生の自己紹介と留学生の国旗掲揚の後、児童鼓笛隊の演奏、体育館内の児童のゲーム（マト当て、輪投げなど）と、屋外の屋台（ヨーヨーつり、かき氷、流しそうめん、焼そば、お化け屋敷）の2つのグループに別れ、交流を深めた。最後に留学生に感想を述べてもらい終了した。留学生・小学生ともに国際理解を深めることができた。

【活動模様】



留学生との交流会の様子

親子で学ぶ高島の灯台と歴史と文化、漁業体験によるふるさと探検隊

益田西ロータリークラブ

【実施場所】 益田市の沖合にある高島

【実施日】 2012年8月19日

【受益者】 益田市の子供たちとその保護者（34名）

【支出内訳】 印刷費 参加者募集 リーフレット作成費（4,500枚） 31,500円、渡船台（44名×5,000円） 170,000円、傷害保険（42名×250円） 8,500円

【実施内容】 益田市の沖合いにある無人島「高島」に渡り、現在は廃墟となっている住宅や小学校等の見学。当時の離島における人々の生活を始めとして、島の歴史を学んだ。

そして、「高島」の山頂まで移動し、現在も稼働する島の灯台を見学した。高島周辺は漁業資源が豊富なため、漁船が数多く出漁しており、灯台が安全な航行に重要な役割を果たしていることを学んだ。

また、参加者全員で漁業体験（サビキ釣り）を実施した。

【活動模様】



高島の見学と漁業体験の様子

小学生と行う倉敷市東部最終処分場への桜の苗木植樹

倉敷瀬戸内ロータリークラブ

【実施場所】 倉敷市東部最終処理場（倉敷市二子1917-4）

【実施日】 2013年3月3日

【受益者】 倉敷市立庄小学校生徒20名及び地域の一般市民

【支出内訳】 桜植栽造成工事用真砂土（4t車12台） 131,593円

【実施内容】 埋め立てごみの処理が終わった処分場の土地に、会員と近くの小学生が一緒になり桜の苗木を植樹した。将来は地域市民の憩いの場所となる桜の名所とする予定。小学生には、ごみ処理場への植樹を通して、ごみを少しでも減らすことの重要性や環境問題についての意識を持ってもらい、青少年育成指導とした。また付き添いの保護者方のロータリークラブの認知や活動への理解にも役立った。

【活動模様】



処分場への桜の苗木の植樹風景



新地区補助金活動報告

【支出内訳】はすべて補助金からの支出分のみ記載しています

「障がい者をつくるプランターと園芸作品の展示」

益田ロータリークラブ

【実施場所】 島根県芸術文化センター・グラントワ敷地内（益田市有明町5-15）

【実施日】 2012年9月19日～2013年2月22日

【受益者】 社会福祉法人 希望の郷福社会 のぞみの里の通所者（40名）およびグラントワ来場者

【支出内訳】 陶芸用縄文荒目粘土（20kg） 105,000円

【実施内容】 ロータリアンがのぞみの里通所者とともに粘土成形し、野焼きしたプランターに、一緒に育てた花を植え、島根県芸術文化センター・グラントワの敷地内に展示した。

今回のプロジェクトを実施したことにより、グラントワ来場者には花を楽しんでもらい、通所者の方には活動の機会を提供することができた。

【活動模様】



プランター作成と展示の様子

立正青葉学園の生徒（幼、小、中、高校生）と地域の人との植樹、清掃活動を通じての環境美化保全交流事業

津山中央ロータリークラブ

【実施場所】 岡山県勝田郡奈義町高円地内 町道二又菩提寺線の沿線と菩提寺境内

【実施日】 2012年11月11日

【受益者】 児童養護施設 立正青葉学園の生徒（幼、小、中、高校生）18名と地域住民、菩提寺参拝者、観光客

【支出内訳】 ヤマザクラ40本 その他雑費 169,875円

【実施内容】 立正青葉学園生とロータリアン、地元の人たちと協力しヤマザクラ40本を道路沿い、菩提寺境内に植樹をし、道端に投棄されている空缶・ビン・ゴミなどの回収を行った。また、奉仕作業を体験しながら環境美化・保全に貢献し、連帯感・忍耐力・協調性を養い、これからの将来を担う子供たちの育成・指導を行った。天候が悪い中カッパ着用で行った。

【活動模様】



当日の参加者



植樹作業



シュロ縄を結ぶ園生たち



記念碑の建中作業

第36回ローターアクト地区大会について

国際ロータリー第2690地区ローターアクト代表 小野裕貴

当2690地区にて5月11、12日に開かれました第36回地区大会に多数のご臨席をいただき、誠にありがとうございました。森田ガバナーをはじめ、ご来場いただいた皆様より温かいご祝辞の言葉を頂き、式典ならびに懇親会が盛大に開催出来ました事に、2690地区メンバー一同心から感謝いたしております。

さて、今大会はホストである鳥取ローターアクトクラブのもと、「思いやり～確かにそこにあるもの～」を大会テーマに掲げ、すでに皆様の中にある「他人を思いやる心」や「他人への優しさ」を再度認識し、見つめ直すきっかけとなるような大会にしたいと考えておりました。一日目は式典及び活動報告、二日目は鳥取の地を活かしたウォークラリーを企画してきましたが、どうすれば鳥取の地を活かしたプログラムになるのか、またテーマに沿い「気づき」を得る事ができるのか意識し、メンバー一丸となって試行錯誤してきました。そして幾度と無く討論を繰り返す中で、メンバーの友情は深まり、プログラムそのものも良くなっていきました。メンバーの足並みが揃っていく様子は地区代表として、感動を覚えるほどで、その時、地区大会を運営していく中で本当



に成長していくのは私たちなのだ実感し、ローターアクト活動の素晴らしさを再認識しました。今後もこの経験を活かした団結力と2690地区らしさ溢れる活動を続けて参ります。

最後になりましたが、日ごろからお世話になっているロータリーの皆様、また第36回地区大会にご尽力頂きました全ての方にこの場をお借りして御礼申し上げます。

第1・第2グループ IM 報告

第1グループ・ガバナー補佐 小林 健治

森田年度最後の締めくくりとしての、第1グループ（智頭・倉吉中央・倉吉東・鳥取・鳥取中央・鳥取北・鳥取西・倉吉）・第2グループ（境港・米子・米子中央・米子南・米子東）の合同IMを4月14日（日）に「倉吉未来中心」で開催しました。会員数620人中、470人も多くの皆さんにご登録をいただいたことは望外の喜びでありました。

第2690地区のテーマの「tsukusu～家庭人として、社会人として、日本人として～」を実践し、ロータリーの公共イメージと認知度を上げるために新しい企画のIMとしました。2部制とし、第1部は会員のためのIM、そして第2部は一般に公開をしてロータリーの公共イメージと認知度の向上に結び付けることを試みました。そうすることで、森田ガバナーのIMの共通テーマである「会員増強」につなげようとするものであります。

「グッド・ロータリーライフ」というテーマで、基調講演をいただいた、ハワイ・サンライズロータリークラブの元会長であるデーブ・アードマンさんに、長田（米子）、谷口（鳥取）、竹田（倉吉東）の3人のロータリアンを加えて、杉原第2グループガバナー補佐のコーディネーターによるパネルディスカッションでは、4人4様のロータリーモーメントの紹介で盛り上がりました。長田会員は若い産婦人科の先生に助けられて、43年間皆出席を続けながら、趣味の8ミリ映画撮影で奉仕をし



パネルディスカッション

た思い出を語られ、谷口会員はロータリーの本質は親睦と奉仕、ボランティアとコミュニティーサービスの違いに言及され、竹田会員は青少年交換プログラムでの貴重な体験を基にした発表であり、4人が全く違う角度からの提言によるディスカッションでありました。それぞれの立場から、ロータリー会員で良かったとの結論は印象的でした。

一般公開の第2部は鳥取短大の白石教授の澄んだソプラノ独唱に始まり、倉吉市長、森田ガバナーの挨拶の後、デーブ・アードマンさんと私が国際ロータリーの奉仕活動の紹介をしました。特に、ポリオの常在国がナイジェリア、パキスタン、アフガニスタンの3か国だけ

になったことは、ロータリーの関与が大であることを強調しました。

公開講座のメインは、ロータリーとも深い関係のある、倉吉出身の国際金融アナリストの倉都康行さんに、復活なった安倍政権と日銀の変化、特に「アベノミクス」の作用・副作用について、我々の生活について易しく解説をしていただきました。一般公開することによりある程度、ロータリーの公共イメージと認知度を上げることが出来たと確信しています。その効果のほどは今後の評価が待たれるところです。



デーブ・アードマンさんの基調講演



倉都康行さんの講演

第6グループ IM 報告

第6グループ ガバナー補佐 小鍛冶 元慎

4月7日(日)春嵐到来の予報の中、覚悟して当日を迎えましたが、幸いな事に穏やかな日となりサントピア岡山総社で開催する事となりました。

森田昭一郎ガバナーを始め延原正、森下和郎両パスト・ガバナー、落合清三次期ガバナー補佐、井上峰一代表幹事、内田耕太郎副代表幹事、グループ内各クラブより多くのロータリアンの出席のもとIMを開催いたしました。

今回の地区IM統一テーマは「会員増強」であり、そのテーマの根本的な問題のひとつとして「魅力あるクラブ創り」にテーマを決め、各会員の方より多くの発言を頂きました。内容は、それぞれ形にこだわらず忌憚のない発言を参加者一同熱心に受け止めて進行、IM全体を参加者全員にて創りあげて頂きました。延原パスト・ガバナーによる所感を頂き、最後の森田ガバナーによる講評にて全体を纏

め、勉強会として肉付けして、より重厚なものに仕上げさせて頂きました。

その後、全員での懇親会にて親睦交流を図り、盛会裡に終わりました。

どれだけの量か、どれだけの深さか、どれほどの成果かは、各参加会員がクラブに持ち帰り、クラブ内で更にご討議され、すばらしい「カタチ」に仕上げ、今後の活動に生かして頂けることを祈念し、重ねて感謝申し上げます。



ロータリーカード推進について

ロータリーカード推進委員長 貴田 茂 (岡山南ロータリークラブ)

「世界でよいことをしよう」

国際ロータリーのロータリー財団の使命は「ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。」といわれています。田中作次RI会長のテーマは「奉仕を通じて平和を」。森田昭一郎ガバナーの地区スローガンは「tsu ku su 一家庭人として、社会人として、日本人として」であります。

ロータリーカード推進委員長としては、ロータリーカード会員に加入し利用していただくことにより、奉仕の機会を広げていただきたく、ガバナー補佐を通じて皆様をお願いいたしました。

おかげ様でロータリアンは少し減少していますが、カード会員はわずかながら増加をいたしました。

今後共引続きご協力よろしくをお願いいたします。

※数字で見る日本のロータリー

(2013年1月末現在) (2012年5月末) 比較

	第1ゾーン	第2ゾーン	第3ゾーン	計
地区数	14地区	9地区	11地区	34地区
クラブ数	846クラブ (-2)	641クラブ (-5)	798クラブ	2,285クラブ (-7)
会員数	27,978人 (-153)	27,567人 (-432)	32,951人 (-154)	88,496人 (-739)
カード有効会員数	1,846人 (-56)	1,866人 (+144)	3,128人 (-15)	6,840人 (2013年現在) (+73)

(国際ロータリー 34のゾーン、532地区、34,430のクラブ、1,215,392人のロータリアン)

◆ロータリー・カード地区別有効会員数 上位5地区一覽

(2013年2月末現在) (2012年6月末) 比較

1位	2690地区 (岡山・鳥取・島根)	1,101人 (-44)
2位	2650地区 (福井・滋賀・京都・奈良)	785人 (-25)
3位	2630地区 (岐阜・三重)	506人 (+16)
4位	2770地区 (埼玉南東)	484人 (+17)
5位	2710地区 (広島・山口)	440人 (-13)

◆ロータリー・カード利用実績

(2013年2月末現在)

2012年7月から2013年2月まで8ヶ月間累計	
利用件数	84,922件
利用金額	865,959,870円
利用金額×0.3%	2,598,782円
ポイント交換	900,000円

◆ロータリー・カードクラブ別有効会員数 上位10クラブ一覽

(2013年2月末現在) (2012年6月末) 比較

1位	岡山南	2690地区	124人 (-2)	6位	笠岡東	2690地区	42人 (-3)
2位	倉敷	2690地区	73人 (+1)	7位	高山中央	2630地区	41人 (+1)
3位	岡山西南	2690地区	47人 (-3)	8位	八潮	2770地区	39人 (-6)
4位	倉敷東	2690地区	45人 (-1)	9位	岡山東	2690地区	38人 (-12)
5位	小倉	2700地区	44人 (-2)	10位	京都南	2650地区	36人 (-1)

2013学年度 米山記念奨学生オリエンテーション・歓迎会

米山記念奨学会委員長 原 武治

5月12日(日) 倉敷国際ホテルにおいて、米山記念奨学生の新規奨学生15名のオリエンテーション並びに歓迎会を開催しました。好天に恵まれ、出席者は地区役員14名、東京米山1名、新規奨学生15名、継続奨学生3名、世話クラブから会長エレクト14名、カウンセラー17名(役員兼務1名)、学友会2名、ガバナー事務所2名の67名でした。

第I部オリエンテーションでは、森田昭一郎ガバナー、葛尾信弘理事、伊藤文利評議員、森本信一ガバナーエレクト、井上峰一代表幹事、脇利幸次期代表幹事、内田耕太郎副代表幹事、治郎丸清志米山副委員長、辻謙次米山委員、廣瀬成史米山委員、谷本章米山委員、佐藤克明米山選考委員、國安重夫米山選考委員、並びに東京米山からのご来賓栗原世承子様のご紹介があり、森田ガバナー、葛尾理事のご挨拶に続いて、パワーポイントによるオリエンテーションが行われました。ロータリークラブとは何か、ロータリーの概要と歴史、地区ロータリーについて、特に確約書の確約事項の重要性について説明があり、奨学生3名に確約事項を朗読していただき、その内容について確認しました。

その後の授与式で、バッジ及び4・5月分の奨学金が、森田ガバナーから奨学生代表として鳥取RCの新規奨学生何昀暁さんに授与されました。その他の奨学生は

それぞれのテーブルにおいて、世話クラブの会長エレクトまたはカウンセラーより受け取りました。

11:50より講演会に入り、東京米山記念奨学会の栗原世承子様より「米山奨学生に期待するもの」という題目にて、パワーポイントによるご講演をいただき、参加者一同、熱心に聞きました。講演後、治郎丸副委員長から講演に対する謝辞があり、記念写真撮影に移りました。

続いて、13:00から第II部歓迎会に入り、乾杯の音頭は伊藤評議員が取られました。しばらく歓談の後13:25から、世話クラブのカウンセラー18名並びに新規・継続奨学生18名の方に6つのテーブルごとに登壇いただき、スピーチをお願いしました。次に、学友会のマオ、ティアリー、陳思字さんから自己紹介がありました。また、当会の開催にご苦労いただいた森田ガバナー事務所の中原・向さんに拍手が送られ、閉会の辞は井上峰一代表幹事が行いました。

奨学生の方々には、世話クラブのカウンセラーの方と交流を深めていただき、素晴らしい、充実した留学生生活送っていただきたい。また、米山奨学事業に加わり、ロータリーファミリーの一員として、新しい世界、新たな人生を広げていただくことを期待しつつ、14:45オリエンテーション・歓迎会を終了致しました。





2013年度 米山記念奨学生名簿

※ 印は継続奨学生

米山奨学生氏名		国籍	世話クラブ	大学名	カウンセラー
王 暉	オウ キ	中国	大社RC	島根大学	西尾 崇
何 曉 恩	カ ギョウオン	中国	松江RC	島根大学	辻 謙次
BUI THI THU HIEN	ブイ・ティ・テウ・ヒェン	ベトナム	松江南RC	島根大学	飯塚 研二
RAHMAN, MOHAMMED TANJIMUR	ラハマン, モハメド・タンジム	バングラデシュ	出雲中央RC	島根大学	今岡 余一良
岳 軻	ユウ ク	中国	鳥取西RC	鳥取大学	田中 章夫
李 曉 剛	リ ギョウゴウ	中国	岡山北RC	岡山大学	米林 真
陳 娜日蘇	チン ナリソ	中国	岡山南RC	岡山大学	真邊 和美
崔 巍	サイ ギ	中国	岡山RC	岡山大学	清水 信義
彭 恵 暉	ホウ ケイキ	中国	岡山後楽園RC	山陽学園大学	岩根 宏行
何 昀 曉	ハ イン ショウ	中国	鳥取RC	鳥取大学	船本 源司
王 琳	オウ リン	中国	岡山東RC	岡山理科大学	赤松 興一
李 善 鏞	イ ソン ヨン	韓国	総社吉備路RC	岡山県立大学	薬師寺 公一
魏 紅 叶	ギ コウ ヨウ	中国	岡山丸の内RC	岡山大学	森本 研治
張 洵	チャン ヒョン	韓国	岡山中央RC	岡山大学	岩城 孝男
楊 圩	ヨウ ウ	中国	岡山北西RC	岡山大学	岡本 和夫
韓 紅 燕※	カン コウ エン	中国	岡山西RC	岡山大学	井上 直美
鄭 英 祚※	ジョン ヨンゾ	韓国	総社RC	岡山県立大学	西 文子
李 侖 京※	イ ユン ギュン	韓国	倉敷水島RC	倉敷芸術科学大学	瀧澤 正
NGUYEN QUYET THI※	グエン・ウェット・ティ	ベトナム	松江東RC	島根大学	永瀬 公男

第5回 諮問委員会 報告

日 時：2013年5月25日（土）

16:00~17:15

場 所：平翠軒

16:00~

《協議事項》

1. 2690地区アーカイブ創設について

《報告事項》

1. 国際大会登録状況について
2. ロータリー世界平和フォーラム広島報告
3. 各賞の状況について
4. 「SAKUJI」作戦の現況について
5. RI 2690地区各クラブ会員増強について
6. PG 会会則確認・PG 会会計報告
7. 全国ロータリークラブ親睦卓球大会開催準備報告

8. 米山記念奨学事業に関する第2690地区の課題について

9. 国際ロータリー日本事務局 事務局移転のご案内
10. 今後のスケジュール
11. その他

- ◆地区ロータリー財団事務所より
- ◆森本信一ガバナー・エレクト事務所より
- ◆松本祐二ガバナー・ノミネー事務所より

17:30~

感謝のゆうべ

そば 「さくら」 にて

086-421-5888 0120-039-619

■当日のご宿泊

倉敷アイビースクエア 086-422-0011

■指定駐車場

倉敷アイビースクエア駐車場



地区だより (2013年4月)

新会員のご紹介





訃報 謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りします。



松本 繁 会員
(倉吉東 RC)

2013年4月18日ご逝去 (享年66歳)
2010年1月21日入会
職業分類：日本料理
勤務先 (有) まつもと 代表取締役

ロータリー財団への寄付

ポール・ハリス・フェロー	クラブ特別寄付 (年次寄付)
 1 深田雄一 米子 RC  2 忌部正孝 隠岐西郷 RC	鳥取RC..... 39.18ドル (ミリオンダラー・ミール) 松江RC.....2010.64ドル (ミリオンダラー・ミール) 出雲南RC..... 11.00ドル (新入会員寄付) 浜田RC.....1432.00ドル (ミリオンダラー・ミール) 笠岡RC..... 289.31ドル (ミリオンダラー・ミール) 笠岡東RC..... 212.77ドル (その他 (ゴルフ同好会より)) 倉敷水島RC... 11.00ドル (新入会員寄付) 25.00ドル (会員1ドル寄付) 岡山RC.....1573.83ドル (ミリオンダラー・ミール、新入会員寄付) 岡山城RC..... 520.00ドル (その他) 岡山西RC..... 531.91ドル (ミリオンダラー・ミール)

メモリアル・コントリビューションへの寄付	年次寄付にご寄付いただいた法人
倉吉RC 小林健治が、義母 森田博子の為	松江RC..... (株) 鴻池組山陰支店

年次寄付にご寄付いただいた方々

鳥取RC.....荻原誉康
 松江RC.....飯塚亮一、泉完次、乾隆明、伊原正人、今井直樹、今村芳郎、内田寛、大谷厚郎、大谷公夫、大川泰、大野光徳、岡田豊、加島幸夫、勝部晋、金坂弘一、菅野哲宗、小林祥泰、後藤勇、櫻井誠己、佐藤尚士、白石貢也、信太秀夫、新宮靖人、仙田一恭、辻謙次、長野真久、中村寿夫、永通烈志、錦織伸行、西村康、秦公平、波多野秀明、原守中、平井保隆、平野政雄、福田正明、古瀬誠、堀江真、榎戸孝之、矢野仁、山根常正、山本清海、米田盛造 (名誉会員)、日浅修二、小村光寛
 出雲RC.....浅田憲三、江角彰宣、福岡正純、日野実、廣田恵春、飯島菊次郎、岸清逸、木佐明宏、永田浩二、永島弘明、佐藤大造
 浜田RC.....江木修二、倉本給都、土田好明
 津山中央RC...阿形覚昇、有本稔、萩原一雄、加藤圓真、小笠原卓宏、岡田敏文、坂田英輝
 岡山東RC.....石井英行、世良仁
 岡山後楽園RC...由良真言
 岡山南RC.....坪井祥隆

米山記念奨学会への寄付

米山 功 労 者



クラブ特別寄付
出雲南RC..... 5,000円 (新入会員寄付) 浜田RC..... 5,000円 (普通寄付 (新入会員)) 笠岡東RC.....20,000円 (ゴルフ同好会より) 岡山西RC.....54,000円 (米山ランチ)

特別寄付をいただいた方々

倉吉RC.....伊藤文利
 倉敷東RC.....赤木幸也、遠藤治郎、遠藤堯之、藤雅子、藤波安勇、藤原光啓、原田博史、林伸雄、平井正敏、廣瀬成史、今井真貴子、今岡道雄、黒田健一、松田健一、松本ゆみ、三島節子、三宅顕隆、三宅政博、三宅俊弘、室山宣英、西山敬二、岡晃、岡本英人、岡本淳、小野久、小野聡、太田隆温、力武善久、佐々木孝之、杉原弘生、武部洋治、田中陸男、富永勲秀、鳥越秀二、上岡修作、山田秀樹、山田暁、吉岡保、松原淨
 津山中央RC...有本次男、野村昌平、岡田敏文、坂田英輝、寺坂磨哉
 津山西RC.....森定慈誠、小椋章光、小椋懋、高矢満雄、内田光教
 岡山北RC.....角南真一



出席報告 (2013年4月)

クラブ名	Make-up後出席率(%)	ホームクラブ出席率(%)	例会数	会 員 数				
				7月1日	4月末	内女性会員	増減	
第1グループ	智 頭	79.55	70.46	4	12	11	0	-1
	倉 吉	100.00	80.60	4	56	58	3	2
	倉吉中央	85.88	67.06	4	22	21	2	-1
	倉吉東	96.93	70.53	4	41	40	2	-1
	鳥 取	100.00	83.41	4	56	60	3	4
	鳥取中央	82.93	80.49	4	41	42	0	1
	鳥取北	84.21	79.47	4	52	49	6	-3
	鳥取西	83.33	74.76	4	54	52	0	-2
計 (8)	89.10	75.85		334	333	16	-1	
第2グループ	境 港	81.67	63.89	4	41	45	0	4
	米 子	76.01	56.51	4	60	64	2	4
	米子中央	92.14	86.43	4	33	35	2	2
	米子東	87.57	65.77	4	83	86	6	3
	米子南	89.54	67.97	3	50	53	3	3
計 (5)	85.39	68.11		267	283	13	16	
第3グループ	松 江	88.08	69.38	4	66	68	0	2
	松江東	88.79	79.31	4	57	60	0	3
	松江南	95.02	85.06	4	63	63	4	0
	松江しんじ湖	89.51	74.91	4	66	66	11	0
	隠岐西郷	78.26	63.48	5	26	24	0	-2
計 (5)	87.93	74.43		278	281	15	3	
第4グループ	平 田	90.48	82.31	4	36	40	2	4
	出 雲	75.74	68.32	4	48	49	1	1
	出雲中央	79.44	76.67	4	47	45	3	-2
	出雲南	95.83	81.25	4	59	60	7	1
	大 社	80.36	75.00	4	42	50	2	8
計 (5)	84.37	76.71		232	244	15	12	
第5グループ	江 津	79.17	72.50	4	29	30	0	1
	浜 田	90.82	79.80	4	56	54	1	-2
	益 田	94.05	73.81	4	22	21	2	-1
	益田西	96.58	80.34	4	27	29	4	2
	大 田	83.52	80.90	4	23	24	3	1
計 (5)	88.83	77.47		157	158	10	1	
第6グループ	井 原	83.54	64.77	4	47	46	4	-1
	笠 岡	96.97	91.41	4	51	49	0	-2
	笠岡東	91.23	77.19	3	40	39	1	-1
	新 見	83.33	75.00	5	23	24	1	1
	総 社	82.98	77.14	4	38	39	7	1
	総社吉備路	84.29	79.60	3	31	33	2	2
	高 梁	86.47	78.03	3	45	45	3	0
	玉 島	91.86	86.41	4	30	29	1	-1
計 (8)	87.58	78.69		305	304	19	-1	

クラブ名	Make-up後出席率(%)	ホームクラブ出席率(%)	例会数	会 員 数				
				7月1日	4月末	内女性会員	増減	
第7グループ	児 島	76.16	67.20	4	31	31	0	0
	児島東	93.18	90.91	4	22	22	0	0
	倉 敷	98.82	84.37	4	82	88	0	6
	倉敷中央	70.83	70.83	4	17	18	3	1
	倉敷東	96.84	87.34	4	41	40	4	-1
	倉敷南	85.57	58.79	3	65	64	5	-1
	倉敷水島	81.25	72.50	4	27	25	0	-2
	倉敷瀬戸内	91.43	73.79	4	34	35	3	1
計 (8)	86.76	75.72		319	323	15	4	
第8グループ	真 庭	84.99	71.82	5	34	34	0	0
	美 作	90.21	85.71	4	36	37	1	1
	津 山	80.52	65.90	4	88	89	3	1
	津山中央	77.42	75.27	4	26	26	3	0
	津山西	86.09	80.00	4	32	33	4	1
計 (5)	83.85	75.74		216	219	11	3	
第9グループ	赤 磐	73.68	51.58	5	21	20	0	-1
	備 前	67.39	60.92	4	62	69	9	7
	岡 山	91.14	72.35	3	109	109	0	0
	岡山東	90.21	83.08	4	85	87	0	2
	岡山北西	90.31	81.12	4	50	50	3	0
	岡山後楽園	82.14	70.54	4	54	56	0	2
計 (6)	82.48	69.93		381	391	12	10	
第10グループ	岡山旭川	84.62	75.96	4	28	27	1	-1
	岡山中央	83.61	68.03	4	43	40	2	-3
	岡山北	80.68	69.32	4	43	45	0	2
	岡山南	79.47	73.34	4	157	160	15	3
	玉 野	86.43	80.71	4	34	35	0	1
	牛 窓	100.00	100.00	4	7	6	0	-1
計 (6)	85.80	77.89		312	313	18	1	
第11グループ	岡山備南	82.68	76.14	4	34	35	3	1
	岡 山 城	94.95	90.82	4	26	25	1	-1
	岡山岡南	83.82	80.15	4	29	35	5	6
	岡山丸の内	80.88	71.32	4	33	35	2	2
	岡 山 西	83.43	69.79	4	77	77	8	0
	岡山西南	91.40	80.09	4	57	59	4	2
計 (6)	86.19	78.05		256	266	23	10	

地区クラブ内の状況

クラブ数	67RC	
7月1日現在会員数	3,057名	
4月末日会員数	3,115名	
内 女性会員数	167名	
純増	58名	
4月出席率	Make-up後	86.21%
	ホームクラブ	75.33%

表紙説明 クロード・モネ (1840~1926) 《睡蓮》 1906年頃 油彩・画布 73×92.5cm

モネは、積みわらや大聖堂、そしてパリ郊外にあるジヴェルニーの自宅に作った睡蓮の池などを対象に、刻々と変化する陽光に応じてその姿を何枚も描き分け、光と色の織り成すドラマを徹底的に追求した。特に《睡蓮》は250点以上も描かれ、日本にも多くの《睡蓮》が招来されるが本作は特別な1点である。
児島虎次郎がすでにフランス美術界の巨匠であったモネを訪ねたのは1920年のこ

と。作品譲渡の申し出に、モネは日本へ渡り公開される作品として本作を自ら用意した。
水面に映る像として周囲の柳や空の存在を暗示する手法をモネは浮世絵に学んだと述べている。そして日本人々は自然の変化に敏感であることをモネは知っていた。だからこそ多くの人の眼に触れる1点として彼は長く手元に残しておいた本作を選んだのである。

国際ロータリー第2690地区
2012-2013年度地区 テーマ

「tsu ku su」

— 家庭人として 社会人として 日本人として —



国際ロータリー第2690地区 2012-2013年度 ガバナー
森田 昭一郎

〒710-0824 岡山県倉敷市白楽町249-5 倉敷商工会館3F
TEL 086-421-2690 FAX 086-421-2691
E-mail: info@rid2690.gr.jp